

責任あるパーム油調達方針 進捗レポート

2025年1月-6月



目次

編集方針.....	p.2
目指す姿.....	p.3
進捗状況.....	p.4-19
実績データ	p.5
1. トレーサビリティ	p.6
2. パルマジュ エディブル オイル のサプライチェーン改善活動(マレーシア).....	p.7
A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用	
B. 自己評価ツール	
C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み	
3. RSPO 認証油の取り扱い	p.9
4. グリーバンスメカニズム.....	p.10
5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)	p.11-16
6. 小規模農家支援(マレーシア).....	p.17-19
お知らせ.....	p.20

編集方針

本レポートについて

本レポートは、NDPE(No Deforestation, No Peatland Development and No Exploitation)達成に向け、原則 2025 年 1 月から 2025 年 6 月に実施したパーム油サプライチェーンのトレーサビリティ確保とサプライチェーン改善活動の進捗を報告するものです。なお、本レポートは、年次で報告するサステナビリティレポートの中間報告として作成しています。

責任あるパーム油調達方針推進のための活動

1. トレーサビリティ
2. パルマジュ エディブルオイルのサプライチェーン改善活動(マレーシア)
3. RSPO 認証油の取り扱い
4. グリーバンスメカニズム
5. Areas for Priority Transformation(APT)ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)
6. 小規模農家支援(マレーシア)

目指す姿

不二製油グループ 責任あるパーム油調達方針（2016年3月策定）

当社グループのサプライチェーンにおけるすべてのパーム油生産に対する「森林破壊ゼロ」「泥炭地開発ゼロ」「搾取ゼロ」(NDPE)へのコミットメントを表明するものです。

https://www.fujioil.co.jp/sustainability/policy/palm_procurement/

中長期 KPI

責任あるパーム油調達方針を強力に推進するため、当社グループの目指す姿のマイルストーンとして、2020年6月に中長期 KPI を設定しました。

	KPI	
	2025	2030
中長期目標	農園までのトレーサビリティ(TTP ^{※1}): 85% ^{※2}	TTP: 100%
	労働環境改善プログラム(LTP ^{※3})適用率: 100% (パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) ^{※4} の全サプライヤー)	LTP 適用率: 100% (全直接サプライヤー)

※1 TTP: Traceability to Plantation

※2 2020年6月時点の TTP の KPI は 75%です。コミットメントを保証するために上記の通り改訂しました。

※3 LTP: Labor Transformation Program

※4 パルマジュ エディブル オイル (マレーシア): 不二製油グループ本社の 100%子会社の油脂製造拠点

進捗状況

2025年6月までの主な進捗

- 本報告期間における搾油工場までのトレーサビリティ(TTM^{※1})は99%を達成しています。トレーサビリティ・プログラムは順調に進捗しており、農園までのトレーサビリティ(TTP)の実績は95%でした。
- 2025年1月に、1つのサプライヤーに対するLTPを完了しました。一方で、サプライチェーンの変更により対象となるサプライヤーの入れ替えが生じているため、現在はLTPの適用を順次進めている段階です。本報告期間におけるLTPの適用率は83%となっています。
- 当社グループの調達先の95%が森林破壊フリーであることが確認されました。パルマジュエディブルオイルのサプライチェーンは100%森林破壊ゼロを達成しました。
- マレーシアの社会的企業Wild Asiaの小規模農家支援プログラムWild Asia Group Scheme(WAGS)において、当社グループは2025年6月までに累計1,636の農家の認証の取得または維持を支援し、91の農家のBIO農法導入を支援しました。

※1 TTM: Traceability to Mill

進捗状況

実績データ

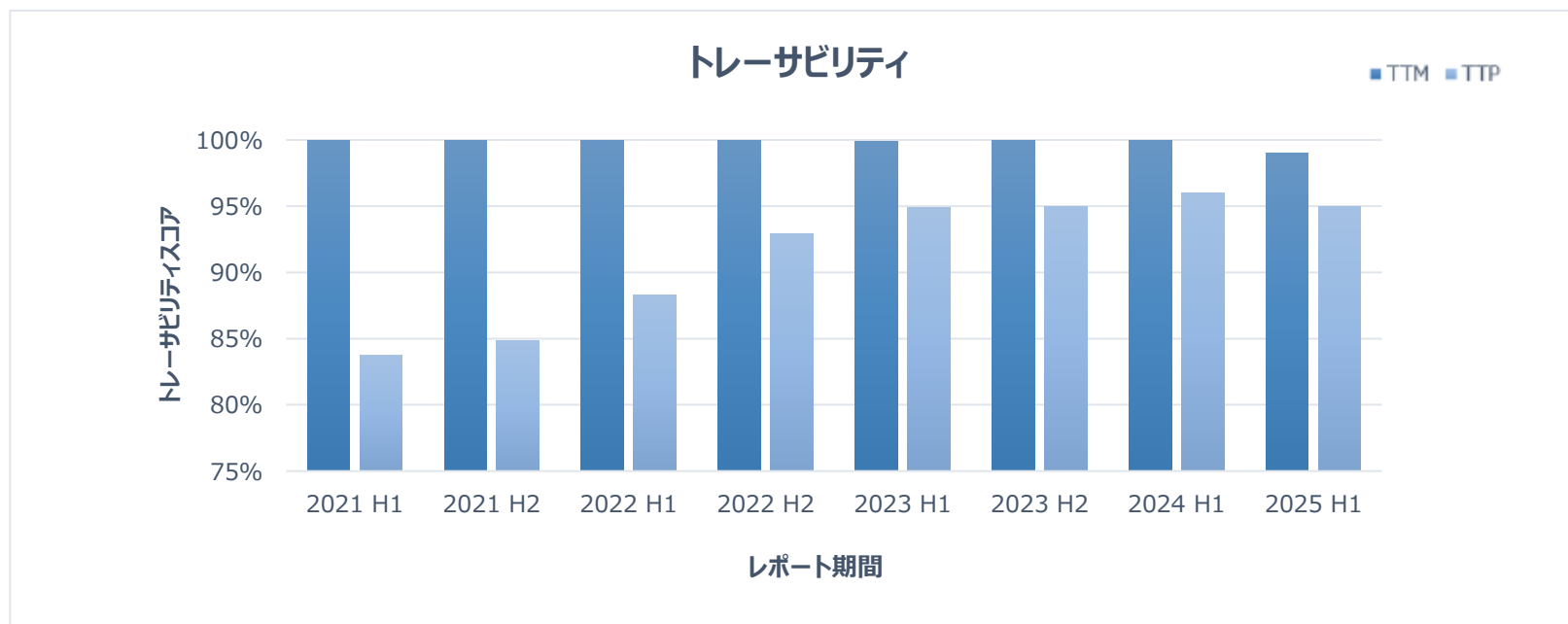
主な ステークホルダー	活動目的		【目標年】 指標	実績			
				2022 (2022年1月～12月)	2023 (2023年1月～6月)	2024 (2024年1月～6月)	2025 (2025年1月～6月)
不二製油グループのサプライヤー、農園、ディーラー、NGO	不二製油グループのパーム油サプライチェーン	トレーサビリティの確保	【2025 / 2030】 TTM 100%/100%	100%	100%	100%	99%
			【2025 / 2030】 TTP 85% /100%	93%	95%	96%	95%
	環境・人権問題の特定	グリーンバンス登録件数※1	47 (2022年4月～ 2023年3月)	103 (2023年4月～ 2024年1月)	55 (2024年4月～ 2025年1月)	84 (2025年4月～ 2026年1月)	グリーンバンス累計登録件数 511件 (2018年5月～2026年1月)
パルマジュ エディブル オイルの サプライヤー、 NGO	パルマジュ エディブル オイルのサ プライチエ ーン	サプライチェーンにおける労働条件の改善	【2025年】 LTP 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイルの 全サプライヤー)	61%	74%	76%	83%
		サプライヤーの責任あるパーム油調達状況の把握	自己評価質問票と行動計画提出率	<直接間接サプライヤー> 88%	<直接間接サプライヤー> 80%	<直接間接サプライヤー> 67%	<直接間接サプライヤー> 67%
		「森林破壊ゼロ」検証	森林破壊に関与していないことが確認された購入量の割合	99%	99%	99%	100%
マレーシア・サバ州の小規模農家、社会的企業	RSPO 認証取得支援	RSPO 認証の取得または維持を支援した累計小規模農家数	908 軒 (2016年1月～ 2023年5月)	1,263 軒 (2016年1月～ 2023年12月)	1,338 軒 (2016年1月～ 2024年12月)	1,636 軒 (2016年1月～ 2025年6月)	
	BIO 農法支援	BIO 農法に適合した累計小規模農家数	70 軒 (2020年6月～ 2023年5月)	81 軒 (2020年6月～ 2023年12月)	95 軒 (2020年6月～ 2024年12月)	91軒 (2020年6月～ 2025年6月)	

※1 グリーンバンス登録件数：当社グループのグリーンバンス手順書に則り、当社グループのパーム油サプライチェーンに直接的または間接的に関係し、当社グループの責任あるパーム油調達方針に合致しないと判定されたグリーンバンスの件数。グリーンバンスの受付のタイミングにより、公表後に数が変動する可能性があります。

進捗状況

1. トレーサビリティ

2025年1月から2025年6月までの期間において、TTM99%を達成し、TTPは、95%を達成しており、農園までのトレーサビリティに関する情報の共有を改善するため、サプライヤーとのエンゲージメントを通じた継続的な取り組みを行っています。近年、自社のサプライチェーン上の搾油工場までのトレーサビリティや搾油工場リスト(ミルリスト)、グリーンバンスリストなどの情報公開を強化するパーム油取り扱い企業が増えています。パートナーと共に、トレーダーやサプライヤーと協力し、グローバルなトレーサビリティスコアを継続的に向上させる計画を進めています。また、TTPスコアを全事業部門で向上させることにも注力しています。



不二製油グループトレーサビリティスコア

進捗状況

2. パルマジュ エディブルのオイルサプライチェーン改善活動(マレーシア)

責任あるパーム油調達方針を実践する戦略として、マレーシアに所在する当社グループの一次精製会社であるパルマジュ エディブル オイルのサプライチェーン上のサプライヤーに対して、Aggregator Refinery Transformation 計画 (ART)を採用しています。2016 年以降、精製会社、搾油工場、農園など、サプライチェーンにおける様々なパートナーの参画が進んでいます。サプライチェーンにおける優先的なニーズに焦点を当てた、多くの具体的な変革活動を中心に戦略を展開しています。

本レポートでは、A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用、B. 自己評価ツール、C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み の 3 つの主要な活動をご紹介します。

A. 「搾取ゼロ」実践のための Labor Transformation Program(LTP)の適用

このプログラムは、パルマジュ エディブル オイル のサプライヤーの労働環境改善に焦点を当て、サプライヤーに人権問題に取り組むためのきめ細かな支援を提供するものです。プログラムの適用範囲には、以下の 8 つの要素が含まれます。

- 1)雇用契約
- 2)賃金・労働時間
- 3)従業員の苦情処理
- 4)移動の自由
- 5)結社の自由
- 6)倫理的雇用
- 7)労働者の居住設備
- 8)安全衛生

進捗状況

2025年6月現在、パルマジュ エディブル オイル(マレーシア)のサプライヤーの83%がこのプログラムの対象となっています。サプライヤーへのエンゲージメントは、現場視察、書類審査、経営陣と従業員へのインタビューを通じて行われます。改善活動の計画および報告書は、現場訪問後に毎回、サプライヤーと共に作成し共有されます。今後も、毎年実施している自己評価ツールにより、アクションプランの進捗状況を把握し、必要に応じて現場を訪問していく予定です。倫理的雇用は、エンゲージメント中に確認された最も一般的な問題です。サプライヤーの経営陣は、この問題を認識し、調査を行い、さらに深く議論する必要があるため、是正の過程にあります。

今後も、サプライチェーン全体で LTP 実施率 100%を目標に、搾取ゼロを目指します。

<https://www.fujioil.co.jp/sustainability/palm oil/>

B. セルフアセスメントツール

2025年上半期、パルマジュ社のサプライチェーンに属する直接サプライヤーの38%、間接サプライヤーの79%が自己評価に参加しました。この評価結果は NDPE に向けた当社グループのコミットメントの一環として、サプライヤーをモニタリング、支援し、協働するために役立ちます。

<https://www.fujioil.co.jp/sustainability/palm oil/>

C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み

「森林破壊ゼロ」に向けたエンゲージメントは、個別サプライヤーとの一対一の対応よりも、業界全体での協働に重点を置いています。これらのエンゲージメント活動は、不二製油が支援するランドスケープ・イニシアチブ・プロジェクトを通じて実施されています。2025年6月時点で、パルマジュ・エディブル・オイルのサプライチェーンは100%、森林破壊がないことが確認されています。

<https://www.fujioil.co.jp/sustainability/palm oil/>

進捗状況

3. RSPO 認証油の取り扱い

不二製油グループは、パーム油の持続可能な生産・消費体系を構築する趣旨に賛同し、2004年から「持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil: RSPO)」に加盟しています。RSPOは、持続可能な認証パーム油(Certified Sustainable Palm Oil: CSPO)を生産する業界で最も広く認知されている国際的な認証制度です。

当社グループは、RSPOの新ルールである「責任の共有原則」を実践し、RSPO認証油の調達量を拡大しています。2025年1月から6月にかけて、不二製油グループが調達したパーム油の約64%がRSPO認証油でした。この背景には、United Plantations Berhad社との合併会社であるユニフジ(マレーシア)の供給体制が整いEUDR施行への対応で欧米市場の需要が増加したことが寄与しています。

2024年には、マレーシアのパーム油・パーム核の製造会社Johor Plantations Group Berhad(マレーシアジョホール州)と持続可能なパーム油を原料とした高付加価値のパーム油製品を製造・販売する合併会社JPG Fuji Sdn Bhdを設立しました。

今後もお客さまのご要望にお応えし、RSPO認証パーム油の調達量拡大に向けた取り組みを強化していく考えです。

* 進捗は www.rspo.org/ をご確認ください。

*当社グループのRSPO調達油比率は、[サプライチェーンデータベース\(英語\)](#)で公開しています。

進捗状況

4. グリーバンスメカニズム

「責任あるパーム油調達方針」を実践するための重要な柱の一つとして、2018年5月にグリーバンスメカニズムを構築しました。グリーバンスメカニズムは、人権や環境問題に関わらず、不二製油グループやサプライチェーンに対して何らかの苦情があった場合に、ステークホルダーや利害関係者が当社グループに苦情を申し立てる窓口になっています。当社グループは、提起された苦情の妥当性を確認した後、「責任あるパーム油調達方針」に基づいて、サプライヤーとのエンゲージメントを行い、適切な是正措置を講じます。

2020年度からは、パーム油のサプライチェーンにおける森林破壊のモニタリングを支援する衛星通信会社の Earthqualizer と提携しています。このパートナーシップによって、インドネシアとマレーシアの当社グループのサプライチェーンで発生した森林破壊を特定し、モニタリング、対処、検証することが可能となり、サプライヤーと解決策を検討し、ステークホルダーとより効果的なコミュニケーションを図ることができるようになりました。

2022年初頭から、NPOの Earthworm Foundation と協力してグリーバンス対応の改善にも取り組んでいます。この協力を通じて、当社グループはパーム油のサプライチェーンに関連する事例報告を受け、サプライヤーに事例を提起し、グリーバンスに確実に対処しています。今後も継続的に案件をモニタリングし、NDPEコミットメントの一環として、サプライチェーン内で提起された問題に対処していきます。

2026年1月末までに累計511件のグリーバンスを登録し、そのうち96%が解決済みです。

https://www.fujioil.co.jp/en/sustainability/grievance_mechanism/

進捗状況

5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア、アチェ)

KPIダッシュボード				
		2025年 KPI	2025年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
ステークホルダー支援	2地区での共同行動計画実施	4	3	75%
	2地区でのNDPE/土地利用に関する規制/方針の更新	-	-	0%
森林保護	100% HCV/HCS ^{※1} と特定された企業数	-	-	0%
	現地規制により保護されているHCV/HCSのヘクタール	41,857	26,880	64%
レジリエントな農家	パーム油のGAP ^{※2} について研修を受けた農家数	2,500	2,308	92%
	代替生計活動実施支援を受けた農家のビジネスユニット数	5	3	60%
労働者と家族	企業や政府との活動を通じて直接・間接的に協働する労働者数	-	-	0%
	間接的に影響を受けた人々	1,000	5,000	100%
コミュニティの権利	参加型の地図製作と土地所有権調査(PM-LTS)に協働する村落数	30	12	40%
	紛争管理プロセスを通じて管理される紛争数	10	5	50%

※1 HCV/HCS: High Conservation Value(高保護価値)/High Carbon Stock(高炭素貯蔵)

※2 GAP: Good Agricultural Practices(農業生産工程管理)

進捗状況

不二製油グループは、2018年より、インドネシアのアチェ・タミアン・ランドスケープにおいて、Earthworm Foundation を通じた支援を継続しています。本取り組みは、森林減少の抑制を目的とするとともに、持続可能なコモディティ生産、自然保全、そして適切な社会・労働慣行が大規模に両立可能であることを実証することを目指しています。インドネシアは当社グループのサプライチェーンにおいて重要な調達地域であり、当社グループは本ランドスケープにおける取り組みを今後も継続していく方針です。2021年には、本プログラムの対象範囲を約390万ヘクタールに拡大しました。これは、インドネシア最北端の州であるアチェ州北部の約70%をカバーする広大な地域です。この地域は12の県にまたがり、世界的にも極めて重要な熱帯雨林であるルーセル・エコシステムを中心に構成されています。本プログラムは、パーム農園のみならず、指定された地域全体の改善を目指すマルチステークホルダー型の協働プロジェクトとして設計されています。

2025年6月時点の進捗は以下の通りです。

- アチェ・トゥンガラ県において、県政府の支援を受け、自然・環境資源管理ワーキンググループ(POKJA PSDA)の設立準備を進めるなど、マルチステークホルダー・フォーラムの構築および強化が進展しました。
- 紛争解決の支援および先住民民族・地域コミュニティ(IPLC)の土地・森林ガバナンスに関する権利保護を目的として、アチェ州内4県におけるステークホルダー・マッピングを実施しました。
- パーム油企業や協同組合へのアウトリーチを通じて、民間セクターによるサステナビリティへの関与と支援が拡大し、CV Perangin-Angin Group (PAG)およびKoperasi Produsen Sada Negeri Grup (KPSNG)による方針策定など、サステナビリティ・コミットメントに向けた初期的な動きが確認されました。
- PT Laot Bangko および PT Aceh Trumon Anugerah Kita(ATAK)において、生物多様性モニタリング、回復計画の策定、ならびに保全地域内の土地権利に関するマッピングを実施しました。
- 3県にまたがる32の村で参加型土地利用計画(PLUP)が完了し、合計74,000ヘクタール超の保全区域が特定されました。
- 地域拠点型組織(CBO)が連携し、324.96ヘクタールの森林再生を実施するとともに、巡回活動、看板設置、アグロフォレストリー、地域参加型の保全活動を通じて、約20,000ヘクタールに及ぶ保全区域の維持・保護に取り組みました。
- 農業生産工程管理(GAP)、安全、金融スキルに関する研修を733名の小規模農家に実施し、これにより研修を受けた農家の累計は2,038名となりました。
- 地方政府の支援のもと、6つの村において、土壌改良、灌漑、野菜種子の配布などを含む試験的農業(テストファーマーリング)を導入しました。

進捗状況

- 地域経済の活性化を目的に、国の協同組合政策と整合した政府主導の「コペラシ・メラ・プティ(Koperasi Merah Putih)」を通じて、10 村を支援しました。
- 既存の参加型マッピングおよび土地権利調査(PM-LTS)の対象村における実施体制の強化に注力しました。
- スブルサラムにおいて、6 村の土地権利問題に対応するための代替的政策ロードマップをテーマとしたワークショップを開催しました。
- PT ATAK および PT Riztya Karya Mandiri (RKMA)において、労働安全および公正な雇用に関する改善の進展が確認されました。
- 小規模農家向け研修の一環として実施した労働安全に関する研修は 164 名に到達。持続可能な農業の推進と農業労働者の安全な労働環境の改善に寄与しています。

進捗状況

5. APT ランドスケープイニシアチブ(マレーシア半島、サザン・セントラル・フォレスト・スパイン: SCFS)

KPIダッシュボード				
		2025年 KPI	2025年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
サプライチェーンの変革	農園までのトレーサビリティ100%達成へ向けた搾油工場の進捗	108	39	36%
	社会環境コミットメントの進展に取り組む搾油工場	81	85	100%
森林保護	残された森林地域の保護に繋がるエンゲージメントにより保護されたヘクタール	-	-	0%
	人間と象の共存プログラムにより保護されたヘクタール	5,000	8,433	100%
レジリエントな農家	エンゲージメントを受けた小規模農家	2,000	1,364	68%
	小規模農家向けのキャパシティビルディングセッションの実施	-	-	0%
	正式な土地権利申請に向けて、地図化・文書化を行い提出対象とする先住民の慣習的土地の面積	1,214	1,338	100%
	コミュニティマップ作成研修に参加した村落	-	-	0%
労働者と家族	直接的・間接的に影響を受けた労働者	18,000	8,395	46%
	労働意識の向上と能力開発に取り組む企業	-	-	0%

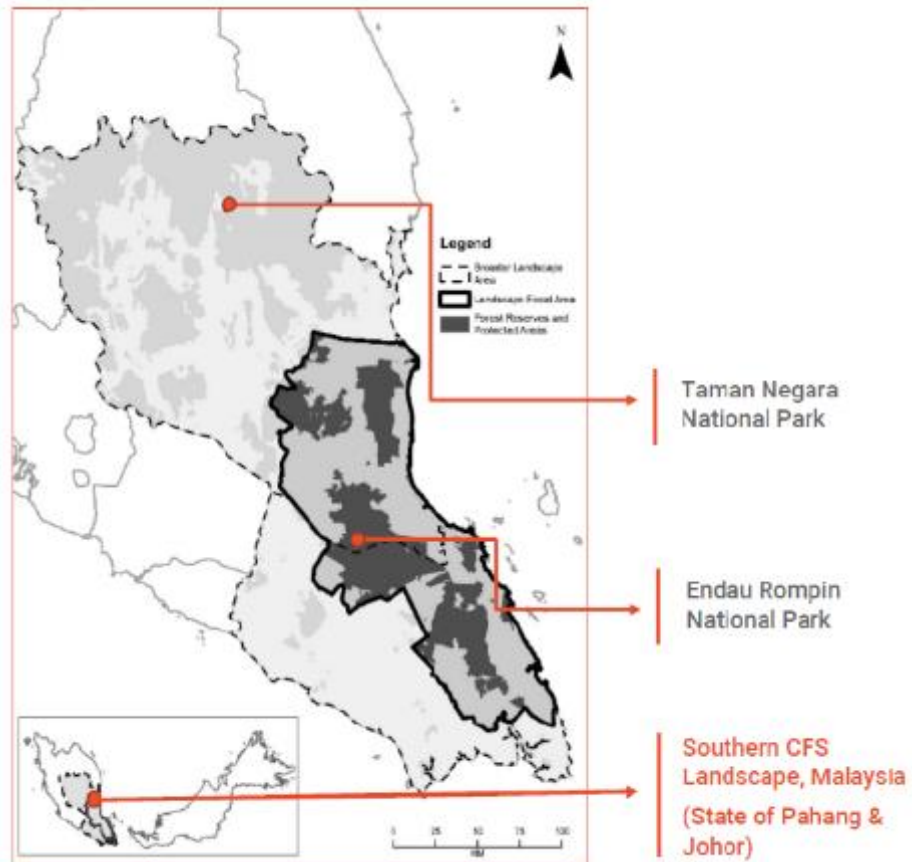
進捗状況

不二製油グループは、マレーシア半島でのサザン・セントラル・フォレスト・スパイン(SCFS)ランドスケープを重点変革エリアのひとつに掲げています。2022年初頭より、NDPE 基準への前進を目指し、Earthworm Foundation を通じて、同地域でのランドスケープの取り組みをさらに支援しています。SCFS ランドスケープとパーム油のサプライチェーンは相互に関連しており、ランドスケープ内の複数のステークホルダーと連携し、ディーラーの関与、労働慣行、人間と野生動物の共存を通じた TTP に関連した変革を推進しています。

2025年6月時点の進捗は以下の通りです。

- 39 の搾油工場が、TTP(農園までのトレーサビリティ)100%を達成し、59 の搾油工場が、部分的に達成し、10の搾油工場は、進捗状況を確認しています。
- 新たに、8 つの搾油工場が NDPE アクションプランを策定し、合計 85 となったことで、ランドスケープ目標を達成しました。
- SCFS ランドスケープ全体では、2024 年第 2 四半期と比較して森林減少が 40%減少し、森林損失面積は 1,244 ヘクタールとなりました。
- SCFS ランドスケープ内のパーム油コンセッションにおける森林減少の主因となっている 3 つのプランテーション(Nadi Mesra、YP Olio、AA Sawit)について、進行中のグリーバンスを継続的にモニタリングしています。
- 野生動物・国立公園局(Department of Wildlife and Nature Park:DWNP)およびワイルドライフ・コンサベーション・ソサエティ(Wildlife Conservation Society :WCS)を主要パートナーとして協力し、地域コミュニティを対象とした人とゾウの共存(Human-Elephant Coexistence :HEC)を管理するための標準化モジュールを開発するワークショップを支援しました。
- 農家の生計向上に向けた支援のため、5 つのプログラムを実施し、新たに 55 名の農家に支援を提供するとともに、オラン・アスリ(先住民族)のガイド 7 名を「マリム・グマン(山岳ガイド)」として認証しました。
- 農業支援として、農家に対してトウガラシ栽培用のフェルティゲーション(施肥灌漑)システムおよびキノコ栽培用ブロックを提供しました。
- Sg Mok エコツーリズム協会の会員に対し、キャンプ用品および調理器具を配布しました。
- 外国人労働者の採用手数料返還に関する国家ガイドラインをテーマに、人的資源省と連携してマルチステークホルダー対話を開催しました。

進捗状況



Photographer: Bejay Yapp/Earthworm Foundation

Sawit Intelligent Management System (SIMS)に関する MPOB とのステークホルダー・ミーティング



KPSA による象との対立管理

進捗状況

6. 小規模農家支援

不二製油グループは、2016年よりWild Asia(WA)のパートナーの一社として参画し、Wild Asia Group Scheme(WAGS)を通じて、小規模農家による持続可能な農業慣行の導入を支援しています。WAGSでは、不二製油グループを含む複数のパートナーの協力のもと、Wild Asiaが独立小規模農家に対する認証取得支援および能力強化支援を実施しています。本パートナーシップおよび関連する取り組みの詳細については、『[サステナビリティレポート 2025](#)』をご参照ください。

認証取得プロジェクトでは、Wild AsiaはWAGSプログラムを通じて、サバ州におけるWAGS加盟の小規模農家に対し、MSPOおよび／またはRSPO認証を維持するための技術的・運営面での支援を提供しています。2025年1月から6月にかけて、サバ州全域で約400名の新規小規模農家がWAGS認証プログラムに参加し、認証要件を満たすことを前提として、将来の監査サイクルへの組み込みに向けた準備を進めています。この期間中、Wild AsiaはWAGSアプリを活用した農家のオンボーディングも試行し、デジタル登録およびデータ取得を通じて、農家登録、現地モニタリング、認証準備を支援する取り組みを実施しました。2016年以降WAGSプログラムを通じて、累計1,636名の小規模農家がRSPOおよびMSPO認証基準への適合を支援しています。

一方、従来型のパーム油農業から、化学物質に依存しない、生物多様性に配慮した再生型農業システムへの移行を支援することを目的としたWAGS BIOプロジェクトを2018年より推進しています。2025年上期には、WAGS BIOチームが、認証を受けた農家やアウトリーチ活動に参加する農家を対象に、BIO農法の紹介や、認知向上のワークショップの実施を行いました。これらの取り組みが進む中、2025年6月時点で、Wild Asiaが定めるBIOファームの数は合計で91に達しました。一方で同期間中、プログラムに参加した農家の一部に、参加の辞退や一時的な活動停止の申し出があったため継続して活動するBIOファームの数に減少が見られました。

本プロジェクトでは、Wild Asiaが定める基準を満たすWAGS BIOファームにて、有機的な土壌管理、生物多様性の強化、生計多角化を統合したホリスティックな農業アプローチを採用することで、小規模農家の経済的な持続可能性を維持しています。WAGS BIOファームでは、段階的な再生型農業の導入プロセスに基づき、まずは農場内資源の効率的な活用と化学投入資材の段階的削減を行います。プロセスの初期工程では、伐採したヤシの葉を農地に配置するフロンド・スタッキング、刈り取った植物をその場で地表に敷くカット&ドロップ、農園内での堆肥化、有機廃棄物の再利用といった手法を取り入れ、土壌状態の改善や侵食の抑制を目指します。次の段階では、発酵バイオ資材の導入に加え、混作・間作、キノコ栽培などの所得多角化を推進します。また、一部の農場では、土壌構造の改善や炭素隔離の強化を目的として、バイオ炭の施用も行っています。2025年6月時点で、Wild AsiaはBeluran、Kinabatangan、Telupid、Lahad Datu、Tongod、Kunakの各地域において101のBIOファーム区画を設立しており、7つのBIOデモンストレーションファームが、実践的な学習および研修拠点としてこれを支えています。

進捗状況

- マルチ化したフロンド、カット・アンド・ドロップによる植生、堆肥などの有機資材を活用し、土壤有機物の蓄積と自然な地力の向上を通じて、合成投入資材の使用を削減
- 製油所由来の副産物を再利用し、バイオ活性を有する有機肥料として活用
- バイオ炭の施用、混作・間作、家畜の統合などの再生型農業手法を導入し、生物多様性の向上および土壤有機炭素の改善を促進

これらの取り組みにより、土壤の健全性が向上し、単位面積当たりの生産性が高まるとともに、食料安全保障の改善や、小規模農家の持続可能で強靱な生計の確立に貢献しています。

進捗状況



デジタル登録、現地モニタリング、認証取得に向けた準備支援のため、WAGS アプリを活用した農家のオンボーディングを試行



Wild Asia が、ディーラーおよびそのサプライヤーを対象に導入説明会を実施



Wild Asia は、RSPO 認証を取得している農家に対して、RSPO プレミアムを分配



農家向けバイオ炭研修を開催



BIO 農家の現状把握調査を実施



間作の一環として、BIO 農家向けに、薬用植物の栽培支援を実施

お知らせ

今後の進捗報告の予定

- ・2026年度上期：サステナビリティレポート 2026発行
- ・2026年度下期：責任あるパーム油調達方針進捗レポート発行